

4 地域支援センター事業

地域支援センターは、地域における高齢者・障害者等へ適切なリハビリテーションサービスを円滑に提供するための業務を全県的な立場で行なっている。地域支援室では「神奈川県リハビリテーション支援センター」として、リハビリテーション情報の提供、人材育成、関係機関の連携を推進する業務を行っており、高次脳機能障害支援室では「高次脳機能障害支援普及事業」の支援拠点機関として、高次脳機能障害者への相談支援と普及啓発活動を行なっている。また、「神奈川県高次脳機能障害地域支援事業」の実施機関として地域での巡回相談や相談体制の整備に取り組んでいる。

(1) 地域支援室の業務（県リハビリテーション支援センター事業）

ア リハビリテーション情報の提供

県内のリハビリテーション関係機関等に関する情報を、地域支援センターホームページに掲載し、情報の提供を行っている。平成24年度のホームページへのアクセス回数は31530回であった。

また、地域支援センターで行っている事業の情報発信を目的に「地域支援センターだより」を、リハビリテーション専門研修会の開催情報とあわせてホームページに掲載し、利用者に必要な情報の提供に努めた。

イ リハビリテーション専門相談

リハビリテーション専門相談は、リハビリテーションを必要とする高齢者・障害者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援センターの専門スタッフがリハビリテーションの立場から市町村及びリハビリテーション関係機関等と協働して総合相談・情報提供・技術支援などの支援活動を実施するものである。平成24年度の相談件数は219件、延べ対応は445件で内容は次のとおりである。

表1 相談依頼元の相談件数

区分	件数	構成比
障害者施設	52	23.5%
市町村	40	18.3%
本人家族	32	14.6%
居宅介護支援事業所	17	7.8%
病院	17	7.8%
障害者相談事業所	14	6.4%
高齢者施設	10	4.6%
訪問看護ST	12	5.5%
保健福祉事務所	8	3.7%
地域包括	7	3.2%
その他	7	3.2%
訪問介護ST	3	1.4%
総合療育相談センター	0	0.0%
合計	219	100.0%

表2 相談に対する保健福祉圏域別の件数

圏域別	件数	構成比
県央	101	46.1%
湘南西部	34	15.5%
湘南東部	19	8.8%
県西	35	16.0%
横須賀・三浦	4	1.9%
横浜	7	3.2%
川崎	2	0.9%
相模原	7	3.2%
県外	5	2.2%
不明	5	2.2%
合計	219	100%

表3 障害別の相談件数

区分	件数	構成比
神経・筋疾患	46	20.9%
脳性麻痺	41	18.7%
脊髄損傷	22	10.0%
脳血管障害	21	9.6%
骨関節疾患	21	9.6%
後天性脳損傷(CVA以外)	17	7.8%
脊髄疾患	10	4.6%
不特定	10	4.6%
不明	3	1.4%
その他(内部疾患・切断)	28	12.8%
合計	219	100.0%

表4 相談内容別の相談件数

区分	件数	構成比
介護指導	111	38.5%
補装具福祉機器	88	30.6%
住環境整備	39	13.5%
身体機能評価	10	3.5%
訓練プログラム指導	9	3.1%
ADL指導	4	1.4%
支援検討 他	27	9.4%
合計	288	100.0%

ウ リハビリテーション研修事業

地域でリハビリテーションサービスに携わる理学療法士、作業療法士、言語療法士、保健師、看護師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、介護職員、福祉施設支援員などの専門職員に対し、リハビリテーションに関する技術的指導や援助方法等の研修を次のとおり実施した。

○リハビリテーション研修事業の実施状況

NO.	区分	開催日	定員	受講者数	延数	評価/5点
1	OTハンドリング入門	4/28	50	59	59	4.7
2	ケアマネジャー支援研修 脳血管障害のリハビリテーション	5/18	30	28	28	4.4
3	脳血管障害の理学療法	5/19,6/30	20	22	39	4.6
4	摂食・嚥下のリハビリテーション	5/29	50	54	54	4.3
5	(新)脳血管障害の作業療法	6/2	16	16	16	4.6
6	機能訓練指導員研修	7/6,7/7	40	50	97	4.5
7	イブニングセミナー 股関節の痛み	7/12	50	30	30	4.8
8	秦野 リハビリテーション介護技術研修	7/20	60	82	82	4.9
9	高次脳機能障害セミナー(理解編)	8/25	200	199	199	4.3
10	PTハンドリング入門	9/1	50	45	45	4.5
11	脊髄損傷のリハビリテーション(理解編)	9/11	30	48	48	4.4
12	脊髄損傷のリハビリテーション(実務編)	9/15	30	35	35	4.6
13	秦野事例検討会その1	9/21	30	28	28	4.5
14	住宅改造・改修セミナー	9/22	40	39	39	4.6
15	補装具専門研修	10/2	30	26	26	4.2
16	車いすシーティングの理論と実際	10/20	50	39	39	4.5
17	地域リハビリテーション推進研修 茅ヶ崎	10/22	40	30	30	4.3
18	PT・OTのための土曜教室	10月～2月毎月1回	24	32	122	4.7
19	褥瘡予防セミナー	11/6	50	66	66	4.3
20	高次脳機能障害セミナー(小児編)	11/10	50	43	43	4.4
21	身体障害者の就労支援(脳血管障害)	11/17	40	32	32	4.6
22	高次脳機能障害セミナーin厚木	11/25	100	67	67	4.3
23	高齢者・障害者の排泄	11/29	50	66	66	4.4
24	(新)リフターナー養成研修	12/7、12/8	24	19	37	4.4
25	知的障害者のリハビリテーション(身体機能低下への対処)	12/12	30	32	32	4.3
26	イブニングセミナー 骨粗鬆症の理解と対応	H25 1/10	50	13	13	4.5
27	相談支援者のためのリハビリテーション	H25 1/19	20	21	21	4.5
28	高次脳機能障害セミナー(実務編)	H25 2/2	50	68	68	4.3
29	かながわ地域リハビリテーションフォーラム	H25 2/9	200	123	123	3.9
30	秦野事例検討会その2	H25 2/15	30	27	27	4.5
31	高次脳機能障害セミナー(就労支援編)	H25 2/23	40	39	39	4.6
32	脳血管障害の下肢装具	H25 3/2	30	22	22	4.8
33	PO研修	H25 3/17	30	27	27	4.2
34	地域リハビリテーション推進研修	H25 3/14	100	88	88	4.5
合計			1734	1615	1787	4.5

エ 「かながわ地域リハビリテーション・フォーラム」の開催

第9回：平成25年2月9日開催 場所：かながわ労働プラザ 参加人員123人

区分	内容
1 特別講演	座長：村井 政夫（神奈川県リハビリテーション支援センター所長） 講師：落久保 裕之（医師・広島市域居宅介護支援事業者協議会会長） 「広島からのメッセージ・在宅医療とリハと介護の連携」
2 シンポジウム	テーマ：「神奈川県における医療・リハ・介護の連携」 座長：土屋 辰夫（神奈川県リハビリテーション支援センター 副所長） シゴジスト：(1) 横浜での在宅医療を支える多職種連携の取り組み 岡田孝弘氏（よこはま在宅医ネットワーク代表 医師） (2) 川崎市ケアマネ連絡会における連携の取り組み 中馬三和子氏（川崎市介護支援専門員連絡会会長 ケアマネジャー） (3) 県西地区リハビリテーション連絡協議会の取り組み 前田大助氏（県西地区リハビリテーション連絡協議会会長 理学療法士） (4) 神奈川県域におけるリハビリテーション支援 蒔田桂子氏（神奈川県リハビリテーション支援センター MSW）

オ 地域リハビリテーション推進モデル事業

特定の市町村をモデル地域として、リハビリテーション人材の育成と地域連携システムの構築を図るもので、「神奈川力」まるごと活用事業の位置づけで、病院事業課との協働・連携で行なっているものである。

平成 23 年度から 2 年間秦野市において実施した。24 年度は地域リハビリテーション推進研修会（平成 23 年 7 月 20 日、参加者 82 名）と市民フォーラム（平成 25 年 3 月 14 日、参加者 94 名、プログラム下記）を各 1 回、事例検討会を 2 回（平成 24 年 9 月 21 日、参加者 31 名、平成 25 年 2 月 15 日、参加者 36 名）開催した。

平成 24 年度も引き続き地域包括支援センター連絡会へ参加し、市内関係機関へのリハビリテーション専門相談の利用案内を行なった。秦野市における専門相談の訪問件数は、開始前の 2 年間は 12 件であったが、モデル事業の 2 年間では 41 件と増加した。

- ・ 地域包括ケア市民フォーラム「高齢者・障害者が安心して秦野で暮らしていくために」プログラム

時 間	内 容	講 師
18:30	挨拶 秦野市 高齢介護課長 秦野伊勢原医師会 会長	二階堂 敬 安部 信三
18:40～ 20:30	シンポジウム 「高齢者、障害者が安心して秦野で暮らしていくために」 (司会) 神奈川リハビリテーション病院 生方 克之	
	「リハビリテーション推進モデル事業2年間の報告」 神奈川県総合リハビリテーションセンター 地域支援センター	土屋 辰夫
	「高齢者の暮らしを支援する立場から」 秦野市東・北高齢者支援センター	松村 直樹
	「障害者の暮らしを支援する立場から」 丹沢自律生活支援センター総合相談室 (指定発言) 「秦野市リハビリテーション連絡会から」 つるかめ訪問看護ステーション	岡西 博一 外池幸三郎
～21:00	質疑応答	

(2) 高次脳機能障害支援普及事業

障害者自立支援法に基づく 高次脳機能障害者の支援拠点機関として 高次脳機能障害支援普及事業を行っている。

ア 神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

高次脳機能障害者に関する地域支援ネットワークの充実を図るため、神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会を開催した。

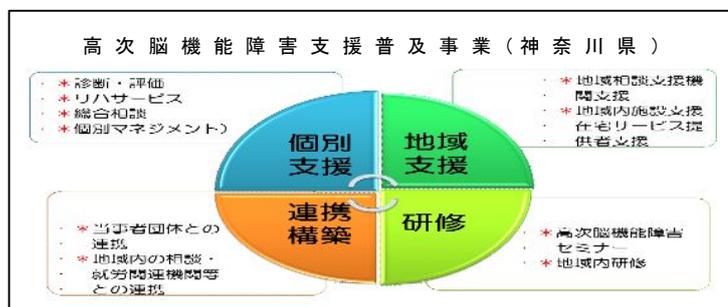
- ・ 日時：平成 25 年 3 月 4 日（月） 15:00～17:00 場所：崎陽軒本店

(委員会の構成員)

区分	所属
学識経験者	神奈川県保健福祉大学 保健福祉学部社会福祉学科
県の機関	保健福祉局企画調整部病院事業課、福祉・次世代育成部障害福祉課、精神保健福祉センター、総合療育相談センター
国の機関	障害者職業センター
横浜市	横浜市総合リハビリテーションセンター
川崎市	川崎市北部リハビリテーションセンター
当事者団体	障害福祉課
相模原市	NPO 法人脳外傷友の会ナナ
職能団体	医療社会事業協会、かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク
サービス提供事業所	愛名やまゆり園
リハセンター	地域支援センター所長ほか4名
計	19名

イ 拠点機関の支援内容の概要

地域支援センターでは、高次脳機能障害相談支援コーディネーターを3名配置し、個別支援、地域支援、研修、地域連携を柱とした事業を実施している。



(ア) 個別支援の状況

表1 相談依頼元の相談件数

区分	件数	構成比
本人・家族	132	51.6%
医療機関（外来含）	75	29.3%
地域相談窓口	22	8.6%
市町村	8	3.1%
障害者施設	3	1.2%
介護保険関係機関	6	2.3%
家族会	3	1.2%
その他	7	2.7%
合計	256	100%

表2 相談内容別の相談件数（重複）

区分	件数	構成比
就労・教育等	823	16.1%
経済・制度利用	752	14.7%
福祉サービス・社会資源	883	17.2%
家族支援	466	9.1%
リハ訓練（通プロ含）	612	12.0%
医療	376	7.3%
補装具	31	0.6%
福祉機器・用具	0	0.0%
看護・介護方法	10	0.2%
生活課題への対応	1146	22.4%
住宅改修	2	0.0%
医療機関紹介	19	0.4%
その他	0	0.0%
合計	5120	100.0%

平成 24 年度障害保健福祉圏域事業調整会議

日 時	場 所	内 容
平成 24 年 4 月 24 日	厚木防災の丘公園	
平成 24 年 6 月 20 日	海老名市文化会館	各圏域ナビの実践状況
平成 24 年 8 月 24 日	秦野市保健福祉センター	県障害福祉課より情報提供
平成 24 年 10 月 24 日	茅ヶ崎市民文化会館	研修会 等
平成 24 年 12 月 12 日	鎌倉市きらら鎌倉	
平成 25 年 2 月 12 日	箱根町役場	

平成 24 年度県・障害福祉圏域・地域自立支援協議会

日 時	場 所	内 容
平成 24 年 7 月 3 日	逗子市役所	
平成 24 年 7 月 4 日	小田原合同庁舎	
平成 24 年 7 月 6 日	大和市保健福祉センター	
平成 24 年 7 月 12 日	藤沢合同庁舎	
平成 24 年 7 月 18 日	平塚市保健所	圏域ネットワーク形成事業実施報告
平成 24 年 10 月 26 日	逗子市役所	各市町村自立支援協議会の実施状況について
平成 24 年 10 月 30 日	平塚市保健所	地域課題の報告及び意見交換 等
平成 25 年 2 月 5 日	海老名市役所	
平成 25 年 2 月 7 日	藤沢市役所職員会館	
平成 25 年 2 月 14 日	平塚市保健所	
平成 25 年 2 月 15 日	小田原合同庁舎	
平成 25 年 3 月 26 日	逗子市役所	

c 当事者団体との連携

当事者団体との連携は、NPO法人脳外傷友の会「ナナ」の協力を得て神奈川県リハビリテーション病院内の協働事業室にて入院・外来利用者などを対象にピアサポート支援や本人の活動支援を行い、必要に応じて地域支援センターと連携した研修や個別支援を行っている。

協働事業室利用者数	本人活動支援
1,553	241

(3) 神奈川県高次脳機能障害地域支援事業

神奈川県では、長期的展望のもと、国の構想である県一カ所の支援拠点だけでなく、県内のそれぞれの地域で、高次脳機能障害について理解し、生活の場で支援を行える人材や拠点作りが必要と判断し、従来行っていた高次脳機能障害者支援のための県単独事業を、平成22年度より強化し、1. 地域ネットワーク作り事業、2. 巡回相談事業、3. コンサルテーション事業を開始した。

ア 地域ネットワーク作り事業

(ア) 高次脳機能障害支援システム検討委員会（小川善道委員長：神奈川工科大学教授）

- ① 平成 24 年 7 月 25 日 10:00～12:00 海老名文化会館
- ② 平成 25 年 2 月 21 日 10:00～12:00 プロミティ厚木

(イ) 地区高次脳機能障害講習会

日 時 : 平成 24 年 11 月 25 日 10:00~16:30
場 所 : 厚木ヤングコミュニティセンター
参加者 : 67 名
講 師 : 高次脳機能障害の医学的理解: 村井政夫 (七沢病院脳卒中総合診療科)
高次脳機能障害の相談支援: 瀧澤 学 (神奈川リハ病院 MSW)
高次脳機能障害の地域支援: 野々垣睦美 (すてっぷなな施設長)
高次脳機能障害の就労支援: 泉 忠彦 (神奈川リハビリテーション病院 職能科科長)
地域での支援事例について: 桐生千広 (相談支援事業所ゆいはあと)

(ウ) 県西地区高次脳機能障害事例検討会

日 時 : 平成 24 年 12 月 20 日 18:00~20:00
場 所 : 海老名市文化会館
参加者 : 16 名

(エ) 支援の実態調査

- a 県央地区 (H24 年度実施) 厚木市 海老名市 綾瀬市 座間市 大和市 愛川町 清川村調
査用紙配布数: 障害福祉サービス事業所 事業数 192 事業
回収数: 117 事業 回収率: 60. 9%
- b 相模原市 (H24 年度実施)
調査用紙配布数: 障害福祉サービス事業所 事業数 154 事業
回収数: 74 事業 回収率: 48. 0%

イ 巡回相談事業

- (ア) 湘南東部障害保健福祉圏域 (光友会 ひかり、チャレンジ)
(イ) 県西障害保健福祉圏域 (障がい福祉センター)

表 1 対応状況別の相談件数

区分	湘南東部 H24 年度	県西 H24 年度
電話	0	0
面談	9	0
他機関でのカンファレンス・見学	1 2	1
巡回先での情報交換(カンファ)	1 1	0
家庭訪問	0	0
調整中	1 1	—
合計件数 (実人数)	0	0
合計	31 人 (のべ 43 件)	1 人

表 2 相談依頼元別の相談件数

区 分	湘南東部 H24 年度	県西 H24 年度
本人	2	0
家族	1	0
訪問先事業所	1	0
病院	1	1
地域内福祉サービス事業者	5	0
ハローワーク	2	0
市町村	0	0
継続支援	1 9	0
合計	3 1 人	1 人

ウ 関係機関等コンサルテーション事業

施設、行政機関、民間団体等の要請に応じて、神奈川リハスタッフを派遣し、地域での困難事例の対応等、専門的な支援の実施を行った。

対応件数 29 件